

【学校沿革の概要】

- (1) 位置 山口県大島郡周防大島町西安下庄 4 1 8 番地 東経 1 3 2° 1 6′ 4 4″
北緯 3 3° 5 3′ 4 0″

(2) 沿革の概要

- 明 6. 2 快念寺本堂の一隅に創設。校名なし。
7. 5 大島郡第 3 小学校と校名さまる。（鹿家・安高・大歳・庄・源明に各支校設置）
13. 4 安下庄小学校と改称。
20. 4 安下庄尋常小学校と改称。（鹿家分校は東小学校簡易科・源明分校は西小学校簡易科・元塩
宇分校は北小学校簡易科、田中に南小学校簡易科ができる。）
40. 4 小学校尋常 6 年制，高等科 2 年制となる。
大 9. 9 新校舎竣工（大正 5 年起工）
12. 4 安西尋常小学校を併合（児童は 1, 000 名を越え，高等科 2 組ずつ尋常科 4 組ずつ 2 8 学級あり）
昭 4. 12 南校舎，新築落成。
12. 4 中校舎東棟新築落成。
16. 4 安下庄国民学校と改称する。
22. 4 安下庄小学校と改称。
27. 11 西校舎 5 教室を解体し，中校舎西棟の 2 階建 6 教室を新築。
28. 4 創立 8 0 周年記念として，北校舎の西半分を解体し，2 階建て 8 教室を新築。
33. 7 安下庄小・中学校講堂を竣工
35. 1 学校給食開始。
39. 3 創立 9 0 周年記念事業として学校林を設定，すぎ，ひのき苗 3，6 0 0 本を植樹。
43. 1 安下庄小学校・校旗新調
44. 4 特殊学級設置。
47. 4 鹿家・秋分校を本校に統合（41・3・18 町議会議決）
49. 11 学校給食優良校として文部大臣表彰を受ける。
50. 8 給食室増設 安下庄学校給食共同調理場と改称
51. 9 安下庄小学校百年史発行
53. 11 山口県教委指定「塾と家庭教師を必要としない学校」研究発表大会開催
54. 7 安下庄小・中学校プール完成
58. 11 県教育課程研究指定校発表会開催
59. 2 ピアノ購入
61. 3 防音対策事業として校舎改築落成（防衛庁予算）
62. 10 花いっぱい運動 県知事賞受賞
63. 1 育友会だより山口県広報紙コンクール優良賞受賞
平元 10 愛鳥モデル校として研究集録を発表
2. 4 山口県社会福祉協議会より「ボランティア協力校」の指定
3. 3 防衛施設庁・文部省の補助により講堂（8 1 9 m²）の建設落成，旧講堂解体
4. 4 山口県学校給食改善研究指定校を受ける
5. 5 橘町社会福祉協議会より「ボランティア協力校」の指定
8. 10 県ボランティア振興財団より表彰を受ける
9. 9 調理場統合・改修し，橘町立学校給食共同調理場と改称
10. 3 プール塗装張り替え
12. 10 文部省指定「歯・口の健康づくり」研究発表大会開催
13. 1 県より安全教育推進で表彰される
14. 3 プールトイレ下水道工事
15. 2 P T A だより山口県広報紙コンクール優秀賞受賞
3 交通公園完成（同窓会・正久前校長寄贈） 4 郡協議会指定「評価研究」
16. 3 プール水洗トイレ工事完成
4 体育倉庫改築完了，人間関係づくりモデル実践校指定（3 年間）
17. 4 小・中・高連携教育研究モデル実践校指定
19. 2 山口県絵画作品展覧会学校優秀賞受賞
21. 3 運動場遊具「キャッスルジム」設置（同窓会より）
22. 1 山口県学校美術展覧会平面造形の部最優秀賞受賞
22. 6 K S 学習（拡大集合学習）開始
23. 1 屋外夜間照明設置
24. 6 「だけのみ山文庫」設置（同窓会より）

- 25 3 国旗掲揚台設置 4 特別支援学級「あおぞら」（情緒障害児学級）の新設
 26 1 学校保健推進優良校
 27 2 日米交流合同コンサートに参加（5・6年）
 28 12 体育館天井落下防止工事完了
 29 10 小学校・中学校初任者研修講座【5期地区別】開催
 30 10 大島破損により簡易給食実施
 令 1 3 新型コロナウイルス感染症拡大防止のための臨時休業措置
 令 2 「学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル～「学校の新しい生活様式」～（文部科学省）」を踏まえた各種対応

(3) 歴代校長氏名

初代	奥世村	川上木	良寿芳	亮熊三	(明)	14.	12.	31～
2代	世村	木上	寿芳	熊三		15.	10.	1～
3代	村上	上木	芳三	三熊		19.	4.	1～
4代	世木	木上	寿三	熊三		20.	2.	1～
5代	唐松	松永	常太郎	太郎		28.	4.	1～
6代	松永	永松	久太郎	太郎		34.	4.	1～
7代	唐松	松永	常太郎	太郎		36.	4.	1～
8代	松元	元助	右衛門	門助		42.	4.	1～
9代	河野	野啓	助郎	郎	(大)	3.	3.	31～
10代	大野	野敏	郎一	一		6.	3.	31～
11代	田中	中藤	新一	一	(昭)	2.	3.	31～
12代	原田	田新	之進	進		3.	4.	1～
13代	長田	田亀	之進	進		11.	3.	31～
14代	野口	口左	一三	三		19.	3.	31～
15代	榊井	井淳	三	三		21.	3.	31～
16代	安本	本薫	三	三		24.	3.	31～
17代	金谷	谷義	人	人		35.	4.	1～
18代	中野	野文	武枝	枝		36.	4.	1～
19代	伊藤	藤茂	枝	枝		37.	9.	1～
20代	西川	川正	悟	悟		40.	4.	1～
21代	白田	田悟	厚	厚		45.	4.	1～
22代	松田	田厚	行	行		49.	4.	1～
23代	和泉	泉貞	裕	裕		54.	4.	1～
24代	木谷	谷裕	彦	彦		58.	4.	1～
25代	西本	本福	彦	彦		61.	4.	1～
26代	小田	田菊	一宏	宏	(平)	63.	4.	1～
27代	浜田	田和	二宏	宏		2.	4.	1～
28代	浜田	田晃	二視	視		5.	4.	1～
29代	西村	村節	美則	則		7.	4.	1～
30代	田村	村好	美則	則		9.	4.	1～
31代	正久	久武	則史	史		11.	4.	1～
32代	野口	口博	義雄	雄		14.	4.	1～
33代	三戸	戸將	義雄	雄		16.	4.	1～
34代	岩永	永利	勉	勉		18.	4.	1～
35代	池崎	崎勉	生	生		21.	4.	1～
36代	鎌田	田孝	明志	志		26.	4.	1～
37代	岩田	田宏	明志	志		28.	4.	1～
38代	田中	中一	志洋	洋		31.	4.	1～
39代	山縣	縣佳	洋	洋	(令)	3.	4.	1～

(4) 年度別児童数（令和3年5月1日現在）

年度	男	女	計	学級数
平成 10	77	67	144	7
平成 15	88	66	154	6
平成 20	75	62	137	7
平成 25	45	38	83	8
平成 30	28	26	54	8
令和 3	22	22	44	6

【学校区域・環境の概要】

(1) 通学区域

本校の校区、安下庄地区秋吉浦地区の総面積は17.6km。20の小集落からなっており、児童は広範の地域から通学している。以前分校のあった「鹿家」は3.6km,「秋」は4.6km,「源明」は3.5km本校からの距離があり、該当地区児童はスクールバスを利用して通学している(R3.4現在2名)。広い校区をもっているが、通学路は限定されており、大多数の児童は県道を利用して登下校している。県道は細く見通しが悪い上、交通量も多いため、交通安全教育には力を入れている。

また、「子ども見守り隊」の活動が平成17年より始まり、現在も登下校の児童の安全に気を配っていただいている。

(2) 社会環境

安下庄地区は三方を山に囲まれ一方を瀬戸内海に面している。気候は温暖で冬季も過ごしやすい。風光明媚な地域で、大島富士と呼ばれる嵩山は有名である。四季折々の景色も美しく、児童は豊かな自然に恵まれて生活している。

本地区の自然環境は柑橘類の栽培に適し、農家の意欲的な生産活動により大島みかんとしてその名が知られ、盛んに栽培されてきた。

大島大橋の無料化、土居坂のトンネル開通、国道437号線の整備等、交通網の拡充がなされ、地区内だけでなく、柳井や岩国等も通勤圏となり、就業者がいる。しかし、過疎化高齢化が進み、児童数も年々減少の一途をたどっており、入学児童数が極端に少なくなっている。本年度は、開校以来初となる『複式学級（3年生10名・4年生2名）』が編制された。

(3) 地域の実態

校区には県立高等学校もあり、進学など教育への関心は高い。保護者も協力的であり、奉仕作業などへの参加率は非常に高い。

周防大島町内全般として教育に対する理解は高く、校区内においても学校教育をはじめ公民館活動を中心に生涯学習への取り組みも活発である。社会教育の講座数も多い。また、子ども会育成会やスポーツ少年団の活動など社会教育と学校教育・家庭教育の連携により、児童の健全な育成が図られている。

観光・文化施設としては、嵩山にハングライダーのランチャーがあり、庄区に着陸地点や練習場としてウインドパークがある。また、ふるさと創生資金で掘り当てられた竜崎温泉は、町内外から訪れる人も多い。隣接する橘総合センターには図書館も設置され、地区の諸活動の中心になっており、特色ある地域づくりの取り組みも活発である。